

令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (長崎県長崎市・内閣府)

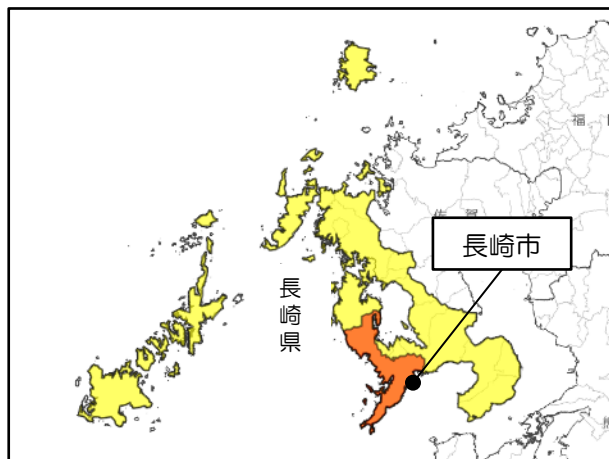
実施報告書 (概要版)

長崎県長崎市について

- 長崎県は九州の西北部に位置し、総面積約4,130km²の陸地は平坦地に乏しく、起伏した山地や丘陵、半島や岬から形成される。海岸線の延長は北海道に次いで全国2位の長さ。
- 長崎市は南を長崎半島の中央を連ねる八郎山系、西及び北を西彼杵半島の一角をなす稲佐山、岩屋山を結ぶ山脈に囲まれ、浦上川、中島川の両水系によって形成された平地部分と、それにつながる丘陵地帯の限られた部分が市街地となり、西南に港を抱いている。
- 人口は令和8年1月時点で385,017人である。
- 丘陵と山が海岸線に迫っており、地形が急傾斜で平地に乏しいため、家屋は傾斜面に沿って山腹に向かい特異な市街地を形成し、土砂災害警戒区域は他都市と比較して多い。

主な被害想定

- 長崎県が行った想定活断層による被害想定では、長崎市内は、雲仙地溝南縁の東部断層帯と西部断層帯の連動(南縁連動)時に被害が最も大きくなると予測している。
- 建物の大破棟数は、揺れ・液状化に伴うものが15,677棟、斜面被害に伴うものが263棟、また、火災焼失被害は、冬の18時との想定で4,852棟であり、大破・焼失棟数の合計は20,792棟と予測される。
- 揺れ、斜面被害及び火災(冬18時)による死者数は合計1,241人と予測される。



訓練概要

- 訓練想定：震度6強の地震が発生し、陸路が寸断され茂木地区が孤立する。
通信手段は消防無線のみで、茂木地区の避難所には負傷者を含む住民が多数避難。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和8年1月17日(金)14:00～16:00
【孤立集落状況把握・支援訓練】 令和8年1月9日(金)13:00～16:00
令和8年1月25日(日)8:15～13:00
【訓練実施後WS】 令和8年1月25日(日)13:00～14:00
- 主催：長崎県、長崎市
- アドバイザー：長崎大学病院災害医療支援室長 山下 和範 准教授
- 参加者数：200名
- 参加機関：長崎海上保安部、海上自衛隊、長崎県警察本部、長崎市消防局、長崎市上下水道局、長崎市消防団、(株)NTTドコモ、九州電力送配電(株)長崎配電事業所、長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎市医師会、長崎市歯科医師会、長崎市薬剤師会、(株)AIR Flight、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン、(株)カネミツ長崎工場、茂木校区連合自治会、民生委員児童委員協議会茂木地区支部、女性防火クラブ、茂木コミュニティ連絡協議会
- 訓練項目：医療チーム先遣隊の投入、トリアージ、ヘリコプターによる重症者の搬送、海上輸送によるDMATの派遣、現地調整本部の設営、海上輸送による医療・インフラ事業者等の投入、地域医療体制の構築、生活応急支援、ドローン輸送
- 訓練の特色：災害現場における医療活動、ニーズに応じた人的・物的支援に焦点を当てて、①急性期初動対応、②医療・インフラ部隊投入、③本格支援とドローン輸送の三部構成にて実施。

訓練の成果

【成果】

- シナリオが非常に精緻に作りこまれており、関係者間の密なコミュニケーションが形成できた。
- ヘリコプターや船舶、大型ドローンを実際に使用し、災害対応力の強化につながる現実的な実動訓練であったが、事前に訓練前ワークショップや机上訓練を実施したことで、関係者の理解度が高く、複雑なシナリオでも円滑に実施できた。
- インフラ関連企業はじめ多くの関係機関が参加し、また、住民の参加・見学者も多く、地域の防災意識の向上にも寄与した。

【課題】

- 今回の訓練では災害現場における医療活動に焦点を当てたが、今後は津波避難などにも焦点を当てた訓練を実施することとしている。
- 外部からの支援が滞ることを見据え、共助力強化に向けた住民主体の訓練実施を検討することとしている。

1月17日(金) 14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

- 災害時の避難所運営における班分けと各班の役割について議論し、共助の意識を向上させる訓練前ワークショップを開催した。
- 発災翌日朝時点の状況想定を踏まえて、訓練当日の動きを確認した。

▼訓練内容の説明



▼住民同士で議論



1月9日(金)、1月25日(日) 孤立集落状況把握・支援訓練

- 1月9日(金)に机上訓練を実施した。

- 発災後における、長崎県、長崎市、インフラ事業者等の初動対応の内容を共有した。

▼インフラ企業より対応を共有



▼薬剤師会より災害処方箋について説明



▼海上自衛隊より、艦船・入浴支援について説明



- 1月25日(日)に実動訓練を実施した。

- トリアージと重傷者搬送、DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣と輸送、地域医療体制の構築等、医療体制に重点を置いた訓練を実施した。

▼重傷者を搬送



▼海上自衛隊の水中処分母船



▼電力会社による発電機展開



1月25日(日) 13:00～14:00 訓練実施後ワークショップ

- 訓練について各関係機関が振り返り、共有するワークショップを開催した。
- 災害時における各関係機関の対応を理解する良い機会となった。

▼特定非営利活動法人より振り返り



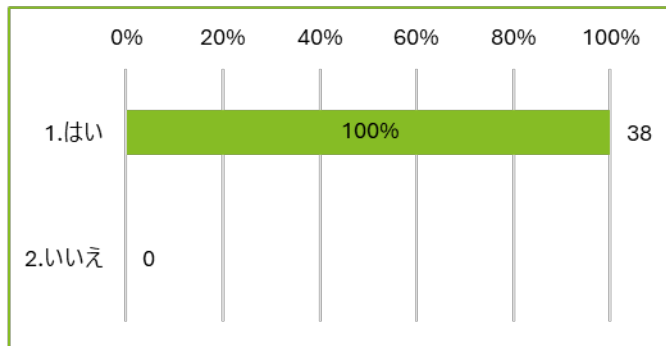
▼医師会より振り返り



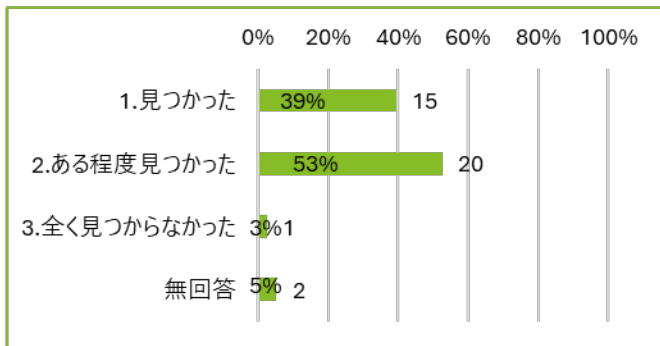
アンケート結果

住民向け(回答数：38)

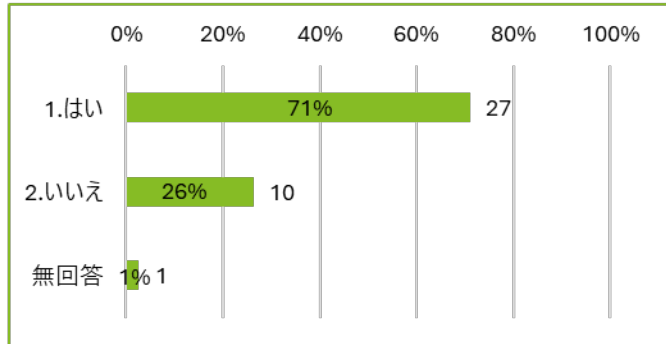
1. 防災意識は高まりましたか。



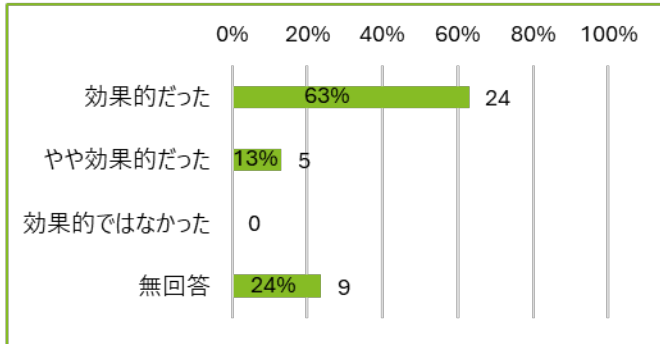
2. 問題点・解決策は見つかりましたか。



3. 事前訓練に参加しましたか。

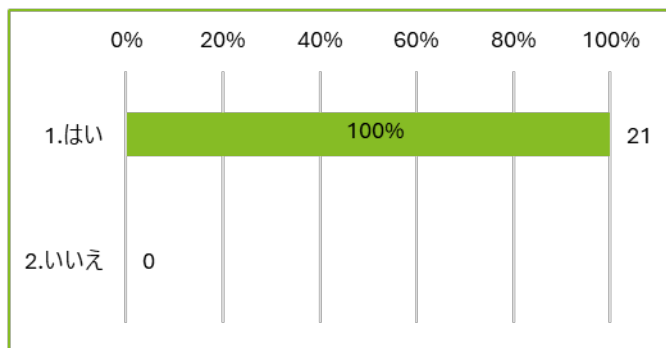


4. 事前訓練は効果的でしたか。

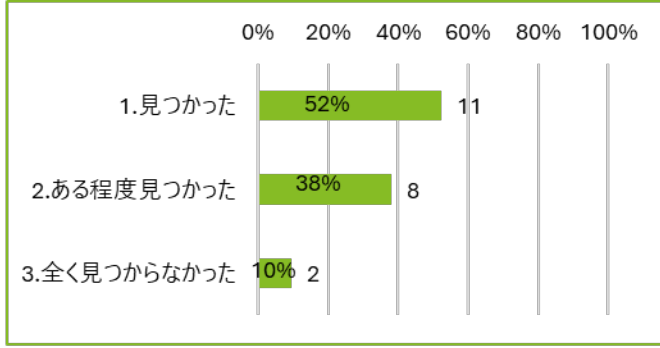


関係機関向け(回答数：21)

5 今回の訓練は、地域の防災対策の強化につながるかと思うか。



6 今回の訓練を通じて、災害時対応における課題点や解決策は見つかったか。



7 今回の訓練を通じて、防災への意識は高まったか。

